

# 備中高松城下町かわら版

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

旧岡山農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

## 朝礼台

### 心根の優しさ

校長 石田 正人

ある校外の人が「高農の生徒は心根が優しい」といつも褒めてくれる。私は、本校生徒が褒められるのがとてもうれしいが、このことは特にうれしい。

三月一日、県教育長竹井千庫氏ほか多くの御来賓の祝福を受けながら第百十六期生が三年間過ごした思い出の学舎を後に卒業していった。

本校では毎年、卒業時に合わせて、「つくし会賞」と「就農奨励賞」という賞を贈る。つくし会賞というのは、大正十四年本校農科卒業の故久宗壮（つよし）氏が卒業後自営する生徒を激励して欲しいと、著書の印税の一部を基金として設立し、当初は「久宗賞」という名で贈られたものであった。現在は、上級学校の自営者育成関連学科へ進学する者も含めて表彰することとし、名称も「つくし会賞」という名称になっている。昭和四十年年度からこれまで六百三十六名の方が同賞を受賞されている。また、昭和四十八年度から、実際に農業経営者となり、顕著な実績を持つと認められる人を「久宗愛農賞」として表彰しており、この賞も昭和六十一年度からは、名称を変え、現在は「卒業後七年度を迎える卒業生で、農業自営者として活躍されている方」に「就農奨励賞」を贈っている。この賞の受賞者も今回で百六十四名となる。

久宗氏は、明治四十年久米町に生まれ、本校卒業後は初代大原農業研究所所長、近藤万太郎博士の助手として種子学、

育種学を学び、立体農業の研究実践や青年学校長、高校教諭を歴任。後に岡山県知事賞（昭和二十八年）、三木記念賞（昭和五十八年）を受賞されている。また、同氏には、「日本再建と立体農業」など十数冊の著書がある。

前置きが長くなったが、この「つくし会賞」、「就農奨励賞」の今年の受賞者はそれぞれ十六名と四名。前者の進路先は、直接牧場に就職する者一名、岡山県農業大学校十名（同大学校へは過去三年で計二十三名が進学している）、岡山大学農学部、新潟大学農学部それぞれ一名（岡大・新潟大へは三年連続で合格者を出し、今春から計七名が両大学に在学することになる）、東京農大一名、さらに鹿児島県と愛知県の農業大学校へそれぞれ一名が進学していく。

就農奨励賞の方は、勝央町で搾乳牛、育成牛合わせて六十頭飼育している方、吉備中央町で肥育牛約四百頭飼育されている方、真庭市で繁殖・肥育豚約九百頭飼育されている方、笠岡市で搾乳牛等約百二十頭飼育されている方の四名で、何れも現在二十五歳の若者である。

このように「心根の優しい」生徒らが卒業して、数年後には実に力強く我が国や本県の農業を支えてくれているのである。彼らはきっと優しく強い心も持ち合わせている。



第 100 号  
平成 27 年 3 月 20 日

発行元  
岡山県立  
高松農業高等学校  
tel  
086-287-3711  
fax  
086-287-3713

### 本誌創刊第 100 号達成！

平成 16 年 9 月に創刊したこの「備中高松城下町かわら版」（写真は創刊号）も記念すべき第 100 号の節目を迎えました。本誌は、当時の本校学校評議員会で提案をいただき、現在の本校第 28 代石田正人校長が教頭時代に企画し創刊されたものです。



### 4月の行事

- 7(火) 制服受け渡し／寄宿舎開舎
- 8(水) 始業式・新任式
- 9(木) 入学式・入舎式
- 10(金) オリエンテーション(1年)、課題考査(2・3年)、転退任式
- 13(月) オリエンテーション(1年)、対面式 課題考査(全学年)
- 14(火) 課題考査(1年)
- 15(水)～16(木) 検尿
- 17(金) 心電図・胸部X線撮影・血圧(1年)
- 19(日) 掃除に学ぶ会
- 22(水) 内科検診(1年)
- 25(土) 春のふれあい市／創立 117 周年記念日 第 1 回 PTA 役員会・評議員会
- 26(日) 同窓会総会
- 28(火) 4/25 の代休
- 29(水) 昭和の日

### ◆ 第 116 回 岡山県立高松農業高等学校 卒業証書授与式 挙行 ◆

3 月 1 日(日)、平成 26 年度卒業証書授与式が挙行政され、本校で逞しく成長した 186 名の卒業生が巣立っていきました。今回は、御来賓として県教育委員会から竹井千庫教育長をはじめ多数の方々に参加いただき、厳粛かつ盛大な式典とすることができました。卒業証書を手に退場していく卒業生からは、涙とともに保護者の方々や友への、そして恩師への感謝の言葉が聞かれ、とても感動的な一日となりました。本校卒業式は今回で 116 回を数え、卒業生の総数は 18,946 名となりました。

また、午後からは第 2 の卒業式でもある本校「清親寮」の退舎式が執り行われ、3 年間の寮生活を終えた 9 名の卒業生は、本当に逞しくその成長ぶりを見せてくれました。

**卒業生の皆に幸あれ！**



### ◆ 平成 26 年度中国四国地域環境保全型農業推進コンクール 優秀賞 [中国四国農政局長賞] 受賞 ◆

3 月 2 日(月)、岡山市で開催された標記の大会（兼環境保全型農業推進プログラム）において、本校農業科学科環境農業専攻生の取組が優秀賞（中国四国農政局長賞）を受賞しました。このコンクールは、生態系の環境保全・調和に配慮し、農業生産活動に伴う環境への負荷の低減を図ることを目的に、環境保全型農業及び有機農業の確立を目指して意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域の農村環境保全に貢献している優良な事例を表彰してその取組拡大を図るものです。

当日は、参加した 100 名を超える関係者を前に、本校生徒が「アイガモ・どじょう農法」の報告や平成 17 年から取り組む「おかやま有機無農薬農産物」認定圃場での生産活動について堂々と発表を行い、好評を得ていました。

